

3学期 始業式の話

2020年、新年あけましておめでとうございます。皆さん元気で、いろんな事をして冬休みを過ごせましたか。

1月1日元旦を、私は、古殿町で一番高い三株山で迎えました。東の空が段々明るくなり、太陽が出た瞬間一緒に居た人たちの顔を、赤く染めました。まぶしいけど柔らかな光が、とってもきれいで、暖かく感じられました。今年も、この初日の出のように、皆さんの笑顔が、家族はもちろん、周りの人を暖かい気持ちにしてくれる一年になって欲しいと、心から思いました。

次に、日の出と反対の方を見ました。どうしてだと思いませんか。

遠くの山並みが、少し霞ん見えたので、今日は無理かなあと思い帰ろうとした時でした。「見える」の声に、その人の周りに人が集まりました。あそこの声に、次々と「あった」「見えた」の声がしましたが、でも、私には見付けられません。諦めそうにもなったのですが、最後にもう一度と思って、ゆっくり、じっくり、山の稜線を右からカメラのレンズで見えていきました。すると、どんという感じでした。少し霞んではいしましたが、雪化粧した富士山が、しっかりと見えました。写真を撮り、カメラではなく自分の目でも直接確認することができました。慌てると、見えるものも見えないという事を、改めて感じました。

元旦に、初日の出と富士山を見て思った2つのことを話しましたが、今日から3学期、みなさんはどんな目標をたてますか。

目標や願いを願いをかなえるには思うだけではなく、思い続けることが大事ですね。オリンピックの代表になった人や、歴史に名が残るような仕事した人の話を聞いてみると、同じような事を聞きます。それは、まず少しがんばればできそうな事を積み上げて、大きなできたにして、大きな目標や夢をかなえているという事です。皆さんのにとって3学期がそうなることを期待し始業式のお話とします。